2026年11月10日

各 位

会 社 名　株式会社日本製鋼所
代表者名　代表取締役社長　松尾　敏夫
（コード番号：5631　東証プライム）
問合せ先　総 務 部 長　寺田　健二
（電話：03-5745-2001）

連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ

2026年5月13日に公表いたしました2027年3月期通期連結業績予想および期末配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2026年11月10日開催の取締役会において、2026年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1．2027年3月期通期連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）（2026年5月13日公表）	310,000	27,000	26,000	19,000	258.11
今回修正予想（B）	320,000	28,500	27,500	21,000	285.25
増減額（B－A）	10,000	1,500	1,500	2,000	
増減率（%）	3.2	5.6	5.8	10.5	
(ご参考)前期実績（2026年3月期）	274,852	25,306	26,051	19,239	261.38

修正の理由

2027年3月期の連結業績予想の売上高につきましては、産業機械事業において、主に高多層プリント基板製造用プレス機が旺盛なAIデータセンター向け需要を取り込み増加する見込みです。営業利益についても、素形材・エンジニアリング事業が堅調に推移しており、増加を見込んでおります。また、投資有価証券の売却等もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は増加する見込みです。

これらの状況を勘案し、通期の連結業績予想を上記の通り修正いたします。

２．剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正

（１）剰余金の配当（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 （2026年5月13日公表）	前期実績 （2026年3月期）
基準日	2026年9月30日	2026年9月30日	2025年9月30日
１株当たり配当金	50円	46円	44円
配当金総額	3,681百万円	―	3,238百万円
効力発生日	2026年12月11日	―	2025年12月11日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

（２）期末配当予想の修正

	年間配当金額		
	第２四半期末	期　末	合　計
前回発表予想 （2026年５月13日公表）	46円	46円	92円
今回修正予想		50円	100円
当期実績 （２０２７年３月期）	50円		
前期実績 （２０２６年３月期）	44円	48円	92円

修正の理由

当社の利益配分につきましては、安定的かつ継続的な配当の実施とその向上を基本姿勢としております。また、企業価値及び株主価値の向上のため、現有事業の安定的な収益力の確保と新事業・新製品伸長に向けた設備投資、研究開発投資を進めるほか、財務体質の改善にも努めております。

当社は、毎事業年度における配当について、期間業績に応じるほか、株主に対する責務との認識も踏まえ、期末配当に加えて中間配当を行うことを基本としており、これら剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会として、配当を実施しております。

また、現中期経営計画「JGP2028」期間中は、連結配当性向35%以上を目標としたうえで、DOE（連結株主資本配当率）2.5%を下限に配当を実施いたします。

当社の配当方針及び上記の連結業績予想の修正を勘案し、第２四半期末の配当金につきましては、１株あたりの配当金を前回発表予想から４円増加の50円とし、期末配当予想につきましても４円増加の50円に修正いたします。これにより、年間配当金額の合計は１株当たり100円を見込んでおります。

（注）上記の連結業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上